

# 安保法案再来週に採決

## 自公方針 60日ルール使わず

自民、公明両党は2日、参院で審議中の安全保障関連法案を14日の週内に採決し、成立させる方針を固め、調整を始めた。現時点では、参院の議決がなくても衆院の再議決で法案を成立させる「60日ルール」は使わない方針で、あくまで参院で採決する考えだ。

▼4面〓注目！安保国会、31面〓参院議員アンケート

自民の谷垣禎一幹事長や 党幹部が2日、都内で会談  
公明の井上義久幹事長らと 共し、採決日程について協

議。16日に参院特別委員会  
で、17日に参院本会議でそ  
れぞれ採決する日程を軸に  
調整していくことで一致し  
た。参院に法案が送られて  
から60日間議決されなけれ  
ば、衆院で再議決できる  
「60日ルール」の適用が14  
日から可能になるが、これ

は適用しない方針だ。

谷垣氏は2日、安倍晋三  
首相とも会談。谷垣氏は会  
談後、記者団に「(衆院での  
再議決ではなく)参院で結  
論を出していただく。採決  
が(27日の国会会期末)ぎり  
ぎりになるとおかしくな  
る」と述べ、採決を会期の最

### ■9月の政治日程

- 8日 自民党総裁選告示(選挙戦なら20日投開票)
- 14日 安全保障関連法案を衆院で再議決できる「60日ルール」適用が可能に
- 14日の週 与党、安保関連法案の参院での採決めざす
- 26日または27日 安倍晋三首相、国連総会に出発(予定)
- 27日 通常国会会期末

終週となる21日の週には持ち越さない考えを示した。  
一方、法案に反対する民  
主など主要な野党は、法案  
の今国会での成立に反対。  
衆院と同様に与党が採決を  
強行する可能性もある。

# 安保法案 60日ルール適用

## 「妥当でない」多数

### 参院議員アンケート 回答は3割

参院で審議中の安全保障関連法案をめぐる、自民、公明両党は、衆院の3分の2以上の賛成で再議決できる「60日ルール」は使わない方針を固めた。「良識の府」「再考の府」にこだわってきた参院。朝日新聞が7月下旬に全議員242人を対象に実施したアンケート

トでも、回答した74人の9割以上が60日ルールの適用は「妥当ではない」としていた。

▼1面参照  
調査は書面で依頼。60日ルール適用の是非や法案の賛否などを選択式で尋ねた。回答率は3割で、与党は1割に満たなかった。

60日ルールについて「妥当ではない」と答えたのは72人。「妥当である」と答えたのは次世代の1人で、無回答が1人だった。妥当ではない理由として、「本

来の二院制の熟議の政治を考えれば好ましくない」「(自民)、「国民の理解を十分に得られたとは言いがたい。真の理解を促進する議論を心がけるべきだ」「(公明)などの意見が寄せられた。「60日ルールそのものを再考すべきだ」との意見もあつた。

で賛成と答えたのは自民、公明、次世代の17人、反対は57人だった。

全問を無回答としたり、回答がなかったりしたのは168人。その理由について一部の議員は「時間がなく差し控えたい」「アンケート取材には原則、応じていない」などと説明した。

党派別の回答者数(当時)は、自民5▽民主32▽公明8▽維新6▽共産10▽次世代4▽元氣2▽社民3▽生活1▽改革1▽無所属クラブ2。(山本亮介)